

# 農地整備課



**【農園観光に向けた道路の拡幅（高森町）】**

県営中山間総合整備事業 高森地区 千早原中工区



**【水路橋の耐震補強（飯田市）】**

県営農村地域防災減災事業 竜西2期地区 宮ヶ洞水路橋



**【集落道の整備（阿智村）】**

県営中山間総合整備事業 花桃の里地区 向工区



**【ため池堤体の耐震改修（阿南町）】**

県営農村地域防災減災事業 川田大つつみ地区

1 農業基盤整備状況

(1) 管内概況

管内の農地の約4分の3は、北部地域（飯田市の一部、松川町、高森町、喬木村、豊丘村）に分布しています。その他の地域には、地形上の制約から、まとまった面積の農地は多くありません。また、急傾斜地が占める割合が高く、県平均を大きく上回っています。

北部地域では、天竜川右岸（竜西）地域で「竜西一貫水路」が昭和44年に、天竜川左岸（竜東）地域で「小渋川用水（竜東一貫水路）」が昭和54年に完成すると、農業生産性が飛躍的に向上しました。また、昭和49年から平成13年にかけて「伊那南部地区広域農道」が整備され、農作物等に対する輸送の効率化が図られました。

一方、西部地域（阿智村、平谷村、根羽村）や南部地域（阿南町、下條村、売木村、天龍村、泰阜村）では、平成9年からの中山間総合整備事業などにより、地域の実態に合わせた農業生産基盤、生活環境基盤の整備が進みました。

近年では、農業水利施設や地すべり防止施設の老朽化に伴う長寿命化対策、土地改良施設（水路やため池など）の耐震対策などが新たな課題となっています。

(2) 水田の整備

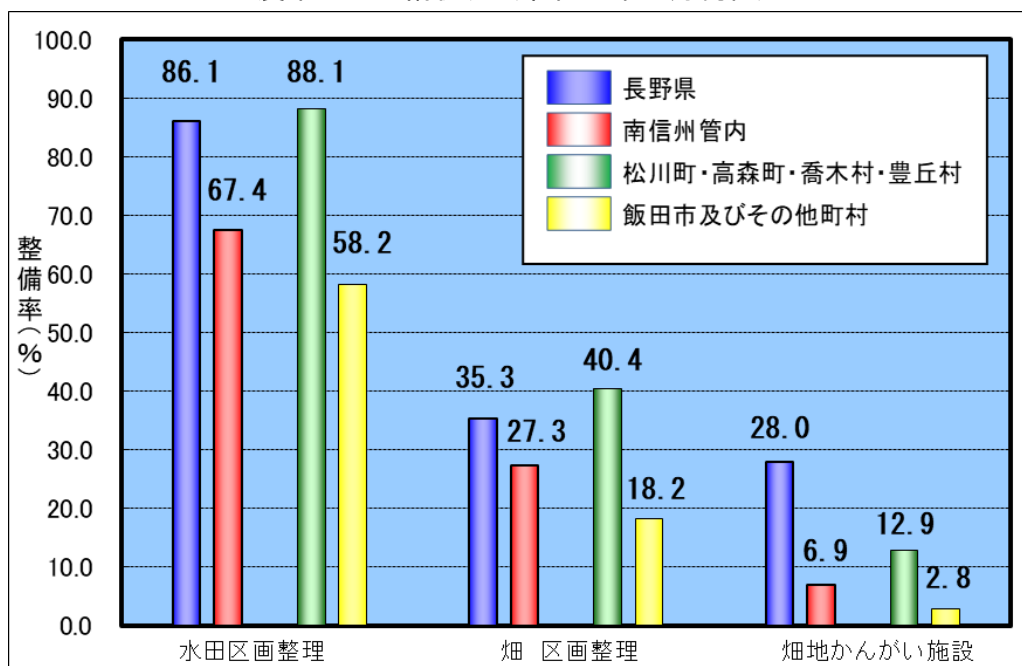
水田の整備状況は、管内全域で比較すると県平均を下回っています。しかし、北部の松川町・高森町・喬木村・豊丘村では天竜川沿岸において整備が進んでいるため、県平均を上回っています。近年では、西南部の阿南町や阿智村などの比較的平坦でまとまりのある地域においても、地形条件等に合わせた整備が進められています。

(3) 畑地の整備

畑の整備状況についても、北部地域の整備が進んでいます。これは、竜東一貫水路の建設とそれに関連して実施された畑地帯総合整備事業によるものです。

畑地かんがい施設は、当地域が比較的降水量が多いこと、作付される作物の関係から、整備率はあまり高くありませんが、飯田市以北の天竜川左岸地域にあつては、竜東一貫水路の水を集中管理システムにより制御した畑地かんがいが行われている事例もあります。

農業基盤整備状況（令和5年4月現在）



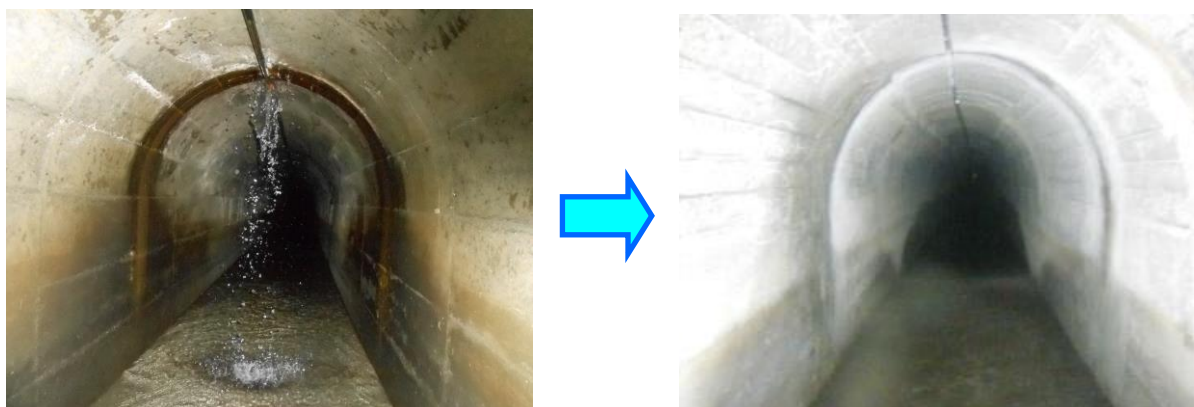
(4) 農業水利施設の整備

管内の農業用排水路は、一定規模（受益面積 5 ha、中山間地域受益面積 3 ha）以上のみの総延長でも約674kmとなります。

これらの農業用排水路のうち、昭和20～40年代に築造された施設は老朽化が進み更新時期を迎えており、農業用水を安定して確保するため、施設の計画的な更新整備と長寿命化対策が必要となっています。

管内市町村は南海トラフ地震防災対策推進地域や、東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されていることから、地震により破損した場合に影響が特に大きい「基幹的な農業用排水路」については、耐震対策が急務となっています。

そのため、該当施設に対して機能診断を行い、必要な補修・更新工事等を実施しています。



補修が完了した山田隧道（竜東一貫水路）

(5) 農道の整備

農産物輸送の合理化と、農村地域の生活環境の改善を図ることを目的とした基幹農道は、平成13年度に「伊那南部地区 広域農道（飯田市、松川町、高森町、豊丘村、喬木村）」が、平成21年度に「飯田北部地区 農免農道（農林漁業用揮発油税財源身替農道）」が供用開始となり、計画された11路線全てが供用されています。

このほか、ほ場内や中山間地域の農道については、既存の農道の拡幅改良や舗装を行うことにより、農作業の効率化と生活環境の改善を図っています。

■基幹農道整備状況(令和6年4月現在)

農道種別	路線数	計画延長(km)	供用延長(km)	整備率(%)	関係市町村
広域農道	1	27.9	27.9	100	飯田市・松川町・高森町・喬木村・豊丘村
農免農道	6	20.8	20.8	100	飯田市・高森町・喬木村
県単農道	4	8.2	8.2	100	飯田市・松川町・高森町
計	11	56.9	56.9	100	



傷んだ路面を県営農道整備事業で改良（広域農道伊那南部2期地区）



(6) 農地防災

農政部所管（農林水産省農村振興局指定）の地すべり防止区域は、管内に30箇所あります。区域内では、農地や人家等を地すべりから守るため、地すべり防止工事や地すべり防止施設の監視等を行っています。

この他、管内には多くの農業用ため池や土砂崩壊危険箇所が存在しており、決壊時に人的被害を与えるおそれが高いため池（防災重点農業用ため池）や土砂崩壊による被害が懸念される山腹水路等を優先して、早期改修に努めています。

■地すべり危険箇所(令和6年4月現在)

地すべり危険箇所 62箇所	
地すべり防止区域 30箇所	
防止工事実施中 4箇所	長寿命化対策工事実施中 13箇所

■農業用ため池、土砂崩壊危険箇所(令和6年4月現在)

農業用ため池	262箇所
防災重点ため池(内数)	(46箇所)
土砂崩壊危険箇所	321箇所



地すべりにより崩落した斜面へ対策工事を実施（県単農地地すべり対策事業 平久2地区）

(7) 農業集落排水施設の整備

農村地域の水質保全や生活環境の改善を図るため、農業集落排水施設を整備しています。管内では10市町村38処理区の整備計画に対し、全ての処理区で供用が開始されています。今後は、処理施設の長寿命化対策や更新整備を行い、効率的な運営となるよう取り組んでいきます。

■農業集落排水整備事業実施状況(令和5年3月31日現在)

エリア	行政人口 R5. 3. 31 (人)	計画区域			接続済		
		処理 区数	整備 人口 (人)	割合 (%)	処理 区数	水洗化 人口 (人)	接続率 (%)
南信州	153,567	38	20,911	13.6	38	19,553	93.5
長野県	2,030,705	250	151,650	7.5	250	140,976	93.0

2 農業農村整備事業計画

農政部では、『第4期長野県食と農業農村振興計画』を実現させるための実行計画の一つとして、国の土地改良長期計画とも整合を図りつつ、『長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画）』を策定し、施策を進めています。

整備計画では、～信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村～を基本目標として

- 次代を担う産地を支える基盤整備の推進
- 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり
- 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

を施策の基本方向にして、農業農村整備を進めています。

■南信州管内の農業農村整備事業実施状況(令和6年4月現在) (単位：千円)

区分	令和5年度		令和6年度	
	地区数	事業費	地区数	事業費
県営事業	18	468,474	17	759,621
団体営事業	28	378,882	28	411,367
合計	46	847,356	45	1,170,988

※事業費は執行額ベース、災害復旧事業は含まない（別掲）

(1) 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

農産物の生産に不可欠な農業用水の安定確保と効率的な水利用のため、農業水利施設の整備を行うとともに、適期に点検を行い、計画的な補修・補強による長寿命化対策を進めています。

■次代を担う産地を支える基盤整備の推進 (単位：千円)

区分	事業名	令和5年度		令和6年度		令和6年度実施市町村(地区名)
		地区数	事業費	地区数	事業費	
県営	県営かんがい排水事業 (基幹水利施設保全型)	1	8,880	1	51,120	飯田市・松川町・喬木村・豊丘村 (小波川2期)
団体営	農業水路等長寿命化・防災減災事業等 (水利施設整備)	2	87,000	1	114,000	松川町(福与)
	農地耕作条件改善事業	4	109,660	6	136,190	松川町(上片桐・大島4、5) 高森町(新田・出原・大島山) 豊丘村(豊丘4)
計		7	205,540	8	301,310	



補修が完了した生田寺沢川サイフォン（竜東一貫水路）

(2) 安全安心で持続的な農村の基盤づくり

住みやすい農村を支える基盤整備と、災害から暮らしを守る農村の強靱化を進めています。

- ◆ 中山間地域の豊かな地域資源や立地条件を活かし、活力ある農村を形成するための農業生産基盤や農村生活環境基盤の整備を行い、住み良い地域づくりを進めています。
- ◆ 防災上対策が必要な農業水利施設について、計画的な補修・補強工事を行っています。
- ◆ 防災重点農業用ため池46箇所に対して、点検・調査の支援を行うとともに、堤体の耐震化等必要な対策を講じ、農村地域の安全確保に努めています。
- ◆ 地すべり防止区域30箇所に対して、市町村の協力を得ながら日常的な点検等を行うとともに、必要な地すべり対策工事や地すべり防止施設の長寿命化対策を実施し、農村地域の安全を確保しています。
- ◆ 農村集落で発生するし尿・生活雑排水等の汚水を処理する施設の機能保全を支援し、生活環境と水質の保全により快適な生活空間の確保を図っています。
- ◆ 土地の戸籍ともいえる地籍の明確化を進め、県土の保全及びその利用の高度化を図るため、市町村が実施する地籍調査を支援しています。

■安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

(単位：千円)

区分	事業名	令和5年度		令和6年度		令和6年度実施市町村 (地区名)
		地区数	事業費	地区数	事業費	
県 営	県営中山間総合整備事業	3	287,398	3	376,140	豊丘村(豊丘) 阿智村(花桃の里) 阿南町(あなん)
	県営農村地域防災減災事業 (土地改良施設耐震対策)	1	47,225	-	-	
	県営農村地域防災減災事業 (ため池整備事業)	1	25,000	-	-	
	地すべり対策事業	8	86,809	10	269,381	飯田市(飯田1、飯田2、虎岩、下栗) 阿南町(阿南1、川田、平久) 大鹿村(上蔵、大鹿1) 泰阜村(大畑)
	県単農地地すべり対策事業	4	13,162	3	62,980	飯田市(下栗) 阿南町(平久、鴨目)
団体営	農業水路等長寿命化・防災減災事業 (ため池耐震点検)	3	42,500	2	35,000	飯田市(飯田市③) 高森町(高森)
	農業集落排水事業	2	14,598	2	4,700	飯田市(柏原・下虎岩) 松川町(上片桐下)
	地籍調査事業	市町村 4	40,620	市町村 4	26,560	飯田市、阿南町、天龍村、大鹿村
計		26	557,312	24	774,761	



農道の改良 ( 県営中山間総合整備事業 花桃の里地区 )



(3) 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

農村地域の資源や美しい環境を次代へ引き継ぐため、地域の取組を支援しています。

- ◆農地及び農業水利施設の機能が将来にわたり維持・保全されるよう、農家や地域住民が協働し地域ぐるみで行う活動を支援しています。
- ◆農村景観を形成している疏水（そすい：農業用水のこと）やため池、棚田などの農業資産の保全活動を支援しています。
- ◆美しい景観を残し貴重な地域資源となっている棚田は、高齢化や過疎化により地域住民の協力なくしてはその維持が困難となっているため、棚田の維持保全を行う住民活動を支援しています。

■農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

(単位：千円)

区分	事業名	令和5年度		令和6年度		令和6年度実施市町村 (地区名)
		地区数	事業費	地区数	事業費	
団体営	多面的機能支払交付金	市町村 12	84,116	市町村 12	<small>〔要求額〕</small> 94,514	飯田市・松川町・高森町・阿南町 阿智村・根羽村・下條村・天龍村 泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村
	ふるさと信州棚田支援事業	1	387	1	403	飯田市（よこね田んぼ）
計		13	84,504	13	94,917	



よこね田んぼで開催された田植えイベント

3 農地・農業用施設災害の発生状況

管内は急峻な地形、もろい地質、多雨といった自然条件から災害を受けやすい地域です。

令和4年は、9月に発生した豪雨災害により農地、農業用施設合わせて36箇所 1億9,300万円の被害が発生しました。これらの災害について、災害復旧事業（国庫補助）として11箇所 9,479万円余が認められ、令和5年度までにすべての復旧工事が完了しました。

令和5年には、6月に発生した豪雨災害により245箇所 5億2,600万円の被害がありました。これは、直近5か年で令和2年に次ぐ大きな災害となりました。このうち68箇所 1億7,024万円余が災害復旧事業として認められており、復旧工事が進められているところです。

■令和4年発生災害復旧事業 実施状況(令和6年4月現在)

(単位：千円)

	被害		査定		令和4年度まで実施		令和5年度実施		被災市町村
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	
農地	23	27,000	7	10,540	0	0	7	10,540	阿南町、根羽村 下條村、泰阜村
施設	13	166,000	4	84,254	0	0	4	84,254	
他	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	36	193,000	11	94,794	0	0	11	94,794	
累計進捗					0.0%		100.0%		

■令和5年発生災害復旧事業 実施状況(令和6年4月現在)

(単位：千円)

	被害		査定		令和5年度まで実施		令和6年度実施		被災市町村
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	
農地	184	339,000	56	103,561	32	53,041	23	41,349	飯田市、松川町、高森町 阿南町、阿智村、根羽村 下條村、天龍村、泰阜村 喬木村、豊丘村、大鹿村
施設	61	187,000	12	66,687	5	9,303	6	44,916	
他	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	245	526,000	68	170,248	37	62,344	29	86,265	
累計進捗					36.6%		87.3%		



令和5年発生災害の復旧状況（阿南町 農道）